
「80 歳以上の症候性頸部内頸動脈狭窄症における血行再建術と最良内科治療の治療選択およびの安全性の検討」に関するお知らせ

このたび、埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科では、当院で診療を受けられた患者さんの診療情報を用いて、下記の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長の許可のもと実施するものです。既存の診療録（電子カルテ、画像データ等）から情報を収集するのみで、患者さんに新たな検査や治療等のご負担をお願いすることはありません。

診療情報の研究利用を希望されない場合、またご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。お申し出によって、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2015 年 1 月 1 日から 2025 年 10 月 31 日までの間に、当院で「80 歳以上の症候性（脳梗塞または一過性脳虚血発作をきたした）頸部内頸動脈狭窄症」に対して、内科的治療単独または血行再建術（頸動脈内膜剥離術：CEA／頸動脈ステント留置術：CAS）による治療を受けられた患者さん。

2. 研究の目的

本研究の目的は、80 歳以上の症候性頸部内頸動脈狭窄症患者さんを対象として、血行再建術（CEA/CAS）と内科的治療単独の治療成績（特に 90 日以内の脳卒中再発、死亡、機能予後など）を比較し、超高齢患者さんにおける最適な治療戦略を検討することです。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026 年 12 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

2026 年 3 月 5 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

本研究では、患者さんから直接試料（血液・組織など）を採取することはありません。

過去の医療記録から以下の情報を収集します。

- ・ 患者背景：年齢、性別、病変部位（左右）、血管危険因子（高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙など）、既往歴（心血管疾患、心房細動、過去の CEA、放射線治療など）、在院日数 等
- ・ 病変情報：狭窄率、プラーク性状（石灰化、ソフトプラーク、高位病変など）、画像所見 等

- ・ 治療内容：外科治療（CEA/CAS）の有無、内科治療内容（抗血小板薬、脂質管理、血圧管理、糖尿病治療など）
- ・ 転帰：30 日後および 90 日後の主要有害事象（脳卒中再発、心血管イベント、死亡）、周術期合併症（過灌流症候群、術後出血など）、再狭窄、modified RankinScale（mRS） 等

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である飯星 智史が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

電子カルテ等の診療録から、研究担当者が必要な情報を抽出します。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター脳神経外科 飯星 智史
埼玉医科大学総合医療センター脳神経外科 川口 雄生

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科 川口 雄生

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3671（土日祝日を除く 9：00～17：00）

○研究課題名：80 歳以上の症候性頸部内頸動脈狭窄症における血行再建術と最良内科治療の治療選択および安全性の検討

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科 飯星 智史